

# TAKE NINAGAWA

## バイオグラフィー

ワン・ビン [王兵]

Wang Bing

1967年西安 (中国) 生まれ

1992 魯迅美術学院 (瀋陽) 写真専攻入学

1995 北京電影学院 撮影学科入学

## 主な個展

- 2019 「ワン・ビン[王兵]」 Take Ninagawa, 東京  
「Rassenge Immagini segrete dalla Cina. Omaggio a Wang Bing」 国立映画博物館, トリノ
- 2018 「Wang Bing」 クンストハレ, チューリヒ  
「Wang Bing」 Galerie Chantal Crousel, パリ  
「Dispossessed Lives. Resilient Lives」 ソフィア王妃芸術センター/Filmoteca Española, マドリード  
「Traces」 Tate Modern Weekend Film Series, テート・モダン, ロンドン  
「Wang Bing: The Weight of Experience」 Film Society, Lincoln Center, ニューヨーク
- 2017 「Experience and Poverty」 Magician Space, 北京  
「documenta 14, Kassel: Retrospective」 Gloria Kino, カッセル, ドイツ
- 2016 「Wang Bing: Three Portraits」 CCA Wattis Institute, サンフランシスコ, カリフォルニア州
- 2014 Film Retrospective and Video/Photography Exhibition, ポンピドゥ・センター, パリ  
Galerie Paris-Beijing (パリ); (ブリュッセル)  
Film Retrospective and Video/Photography Exhibition, ベルギー王立シネマテーク, ブリュッセル
- 2009 Galerie Chantal Crousel, パリ

## 主なグループ展

- 2020 「China⇌Africa: Crossing the world color line」 ポンピドゥ・センター, パリ
- 2019 「Circular Flow」 バーゼル市立現代美術館, バーゼル  
「Fast Fashion/Slow Art」 Bowdoin College Museum of Art (ブランズウィック);  
George Washington University Museum and Textile Museum (ワシントンD.C.)
- 2018 「コチ=ムジリス・ビエンナーレ: Artists' Cinema - Documentation in Digital Humanities」  
curated by Li Zhenhua, コチ, インド  
「Hito Steyerl, Ben Rivers, Wang Bing, EYE Art & Film Prize」 EYE Filmmuseum,  
アムステルダム
- 2017 「Learning from documenta」 Centre Culturel de Strombeek, ブリュッセル  
「Bi-city Biennale of Urbanism/Architecture」 深圳/香港

# TAKE NINAGAWA

- 「documenta 14, Athens」 アテネ国立現代美術館 (EMST), アテネ  
2016 「Chinese Video Art since the 1980s」 (「Time Test: International Video Art Research Exhibition」における展示) 中央美術学院美術館 (北京); 紅專廠 (RMCA) (広州)  
2014 「第10回上海ビエンナーレ: Social Factory」 Power Station of Art, 上海

## 映画祭での特集

- 2016 特集, dokumentarfilmwoche hamburg, ハンブルク  
特集, ケーララ国際映画祭, トリヴァンドラム, インド  
2015 回顧上映, Festival Black Movie, ジュネーヴ  
回顧上映と写真展示, 全州国際映画祭, 韓国  
2014 回顧上映, 環太平洋国際映画祭, ウラジオストク  
AV Festival 14, ニューカッスル・アポン・タイン, イギリス  
2011 特集, Cinema South Festival, スデロット, イスラエル  
2010 回顧上映, Milano Filmmaker Film Festival, ミラノ

## 受賞

- 2021 CHANEL Next Prize  
2019 ロバート & フランシス・フラハティ賞 (大賞), 山形国際ドキュメンタリー映画祭 - 死靈魂 (2018)  
2017 金豹賞, 第70回口カルノ国際映画祭, スイス - ファンさん (2017)  
EYE Art & Film賞, アムステルダム  
2016 Orizzonti Award for Best Screenplay, 第73回ヴェネツィア国際映画祭 - 苦い銭 (2016)  
2014 グランプリ, リスボン国際ドキュメンタリー映画祭 - 父と子 (2014)  
2013 Mongolfière d'argent, ナント三大陸映画祭 - 収容病棟 (2013)  
グランプリ, フリブール国際映画祭, スイス - 三姉妹～雲南の子 (2012)  
Critic Prize, Black Movie Festival, ジュネーヴ - 孤独 (2012)  
2012 Orizzonti Award for Best Film, 第69回ヴェネツィア国際映画祭 - 三姉妹～雲南の子 (2012)  
Montgolfière d'or, ナント三大陸映画祭 - 三姉妹～雲南の子 (2012)  
Best Director, Muhr AsiaAfrica Award, ドバイ国際映画祭 - 三姉妹～雲南の子 (2012)  
Best Film Award - リスボン国際ドキュメンタリー映画祭 - 三姉妹～雲南の子 (2012)  
2011 Prix Spécial du Jury, Festival Ânûû-rû âboro, Pwêêdi-Wiimiâ, ニューカレドニア/カナキー  
- 名前のない男 (2009)  
2010 Jury Prize, Prize of the Spirit of the Mirror, アンドレイ・タルコフスキー国際映画祭  
「Zerkalo」, イヴァノヴォ, ロシア - 無言歌 (2010)  
2008 Ecumenical Jury Award, Special mention, フリブール国際映画祭,  
スイス - 鳳鳴—中国の記憶 (2007)  
2007 Georges de Beauregard Prize, マルセイユ国際映画祭 (FID) - 鳳鳴—中国の記憶 (2007)  
ロバート & フランシス・フラハティ賞 (大賞), 山形国際ドキュメンタリー映画祭  
- 鳳鳴—中国の記憶 (2007)  
Young Critics Award, シネマ・デジタル・ソウル映画祭 - 鳳鳴—中国の記憶 (2007)  
IPJ University Prize, リスボン国際ドキュメンタリー映画祭 - 鳳鳴—中国の記憶 (2007)  
2006 フランス国家功労勲章 (Légion d'honneur)  
2005 Grand Prize of the Documentary Jury, メキシコシティ国際現代映画祭 (FICCO)

# TAKE NINAGAWA

- 鉄西区 (1999 - 2003)

Grand Prize of the Documentary Jury, モントリオール世界映画祭 - 鉄西区 (1999 - 2003)

2004 Prize-winner, La Résidence, 第57回カンヌ国際映画祭シネファウンデーション

- 鉄西区 (1999 - 2003)

2003 ロバート & フランシス・フラハティ賞 (大賞), 山形国際ドキュメンタリー映画祭

- 鉄西区 (1999 - 2003)

グランプリ, マルセイユ国際映画祭 (FID), 鉄西区 (1999 - 2003)

Montgolfière d'Or, Jury Documentaire, ナント三大陸映画祭 - 鉄西区 (1999 - 2003)

2002 グランプリ, リスボン国際ドキュメンタリー映画祭 - 鉄西区 (1999 - 2003)

主なパブリック・コレクション

アテネ国立現代美術館 (EMST)

フランス国立造形芸術センター (CNAP)

ポンピドゥ・センター

M+